

# 商用水素ステーション整備支援事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラクくん

2025年度事業

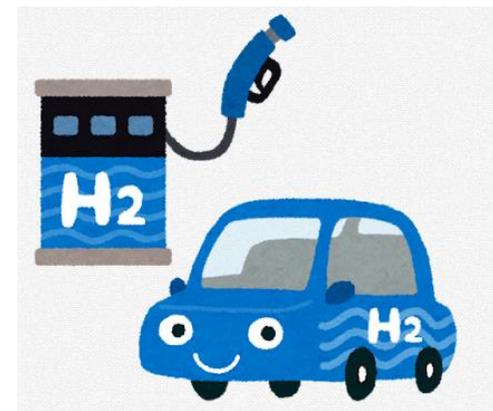
## 背景・目的

商用水素ステーション整備支援について、内陸県である本県において、水素の調達コストを安価に抑えることが可能な水素製造装置付き小規模水素ステーションを補助対象に追加し、水素の利活用の促進を目指す。

## 事業概要

○商用水素ステーションの整備に対する助成

- ✓補助対象者 県内で水素供給設備を整備、運営する法人又は個人事業者
- ✓補助対象 国補助金の対象であり、栃木県内に設置する定置式設備であること。  
※2025年度から水素供給能力によらず補助対象とした
- ✓補助率 1 / 4 以内
- ✓補助上限 水素供給能力：300Nm<sup>3</sup>/h未満 50,000千円  
水素供給能力：300Nm<sup>3</sup>/h以上 100,000千円



## 期待される効果

県内に商用水素ステーションが誘致されることで、FCV※の導入促進に期待できる。

※二酸化炭素を排出せず、また災害時の非常用電源となる水素を燃料とする燃料電池車

# EV充電インフラ整備促進事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラくん

2025年度事業

## 背景・目的

県ロードマップに掲げるEV用充電器の整備を促進するため、「栃木県EV・PHV充電インフラビジョン」に基づき、民間事業者と連携し取組を強化するとともに、交通量が少ないなど優先順位が低い「空白地域の解消」や、交通拠点である「道の駅の整備」に重点的に取り組む。

## 事業概要

- 補助対象 空白地域又は道の駅への急速充電器※の設置  
※定格出力が10kW以上50kW未満のものに限る
- 補助率 事業者：100千円/kW、市町：88千円/kW
- 補助上限額 5,000千円

## 期待される効果

充電インフラの充実により、EV・PHV購入に対する不安を解消することで、EV等の普及促進を図る。

### 【主な設置箇所】 重点的に整備を進める箇所

種類	設置箇所	施設数	設置数 (2022)	整備目標 (2030)
急速 充電器	高速道路SA・PA	16	161基	500基
	道の駅	25		
	空白地域※	約30		
	GS、ディーラー、コンビニ等	約1,800		
普通 充電器	宿泊施設、レジャー施設等	約2,300	323基	2,000基

※公道上道のり15km以内に急速の公共用充電器がない地域

# 公共交通バスEV化促進事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラクくん

2025年度事業

## 背景・目的

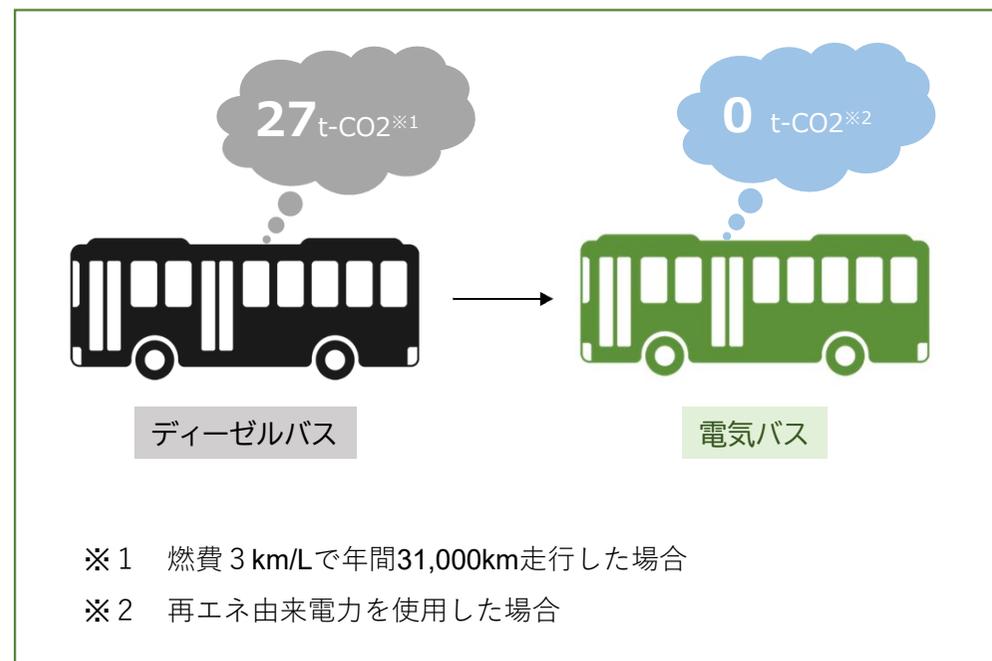
県ロードマップに掲げる商用車等の電動化を促進するため、県内で実施される電気バス向けエネルギーマネジメントシステム開発実証事業において、導入される電気バスや充電器等に対して支援を行うことで、交通分野の脱炭素化を推進する。

## 事業概要

- 補助対象 電気バス、充電設備、電源設備
- 補助率 補助対象経費の3分の2から国庫補助金を除いた額の2分の1

## 期待される効果

- 温室効果ガスの排出削減
- 市街地を走行することによる電気自動車の優位性の発信



# 優良取組顕彰事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラクくん

2025年度事業

## 背景・目的

「栃木県カーボンニュートラル実現条例」に基づき、カーボンニュートラル実現に関する特に優れた取組を行う県内の中小企業者等を表彰し、その取組を広く公表することで、オールとちぎでカーボンニュートラルの実現に取り組む機運の醸成を図る。

## 事業概要

- ・エネルギー使用量の削減や脱炭素に資する新製品の開発等、カーボンニュートラル実現に向けて取り組む中小企業者等を「とちぎゼロカーボン企業」として表彰

※「省エネ」「創エネ」「燃料転換」「吸収源対策」等の分野において①貢献度、②波及性、③持続性、④創意工夫、⑤連携・協働等の基準により審査

- ・受賞者の取組を県HPや新聞記事広告等に掲載して広く周知

## 期待される効果

「とちぎゼロカーボン企業」として表彰し、その取組を広く公表することで、先進的な取組の横展開を図る。





# EV・PHV普及促進事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラくん

2025年度事業

## 背景・目的

EV等の普及促進のためには、急速充電器の設置拡大が不可欠であるが、県庁地下駐車場に設置している急速充電器がR6.7に故障したことから更新する必要がある。

## 事業概要

県管理の急速充電器の更新工事を行う。

## 設置箇所

- ・ 県庁（本庁舎）地下駐車場 1基

## 期待される効果

急速充電器設置拡大に伴うEV等の周遊性向上が期待される。



県庁地下駐車場

# 次世代型太陽電池設置事業



とちぎカーボンニュートラル実現リーダー  
ニュートラクくん

2025年度事業

## 背景・目的

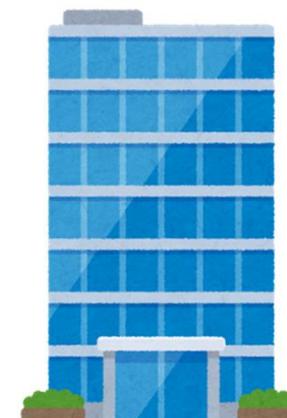
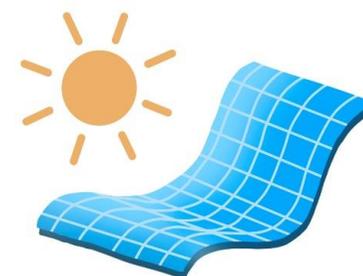
栃木県庁におけるCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比▲80%の目標達成に向け、設置可能な施設の50%に太陽光発電設備の設置を目指すこととしている。

## 事業概要

軽量かつ柔軟といった新たな特性を備えた「ペロブスカイト太陽電池」を既存の太陽光パネルの設置が難しいとされる県有施設に率先導入する。

## 期待される効果

- ペロブスカイト太陽電池の導入可能性及び有用性を示すことで、民間事業者への普及が期待される。



# 日光自然博物館管理運営費

## 背景・目的

奥日光地域では、マイカー利用等に起因する交通渋滞の発生により環境負荷が増加しているため、渋滞緩和と環境負荷低減のための二次交通の利便性向上が急務である。

## 事業概要

奥日光地域においてEVが周遊できる環境を提供するために整備した急速充電器の維持管理を行う。

※整備時期：令和3(2021)年度

## 設置箇所

- ・ 華厳の滝第一駐車場 1基
- ・ 赤沼園地駐車場 1基
- ・ 湖畔第一駐車場 1基

## 期待される効果

日光地域で導入済みのNIKKO MaaSと連携してEV等の普及を図ることで、域内周遊の利便性が向上するとともに、交通の電動化によりCO2排出量が削減され、環境にやさしい観光地としてのブランド化を図る。



# 栃木県県民の森施設整備費

## 背景・目的

栃木県県民の森キャンプ場管理棟の照明及び給湯設備を更新することにより、CO2排出量の削減及び機能回復を図る。



## 事業概要

- ・照明器具改修（蛍光灯 → LED）
- ・シャワー用給湯設備改修（ガス → エコキュート）

管理棟外観



現在の照明器具



現在の給湯設備



## 期待される効果

- ・消費エネルギー削減によるCO2排出量の削減
- ・利用者の利便性の向上

# 低公害バス設備更新費

2025年度事業

## 背景・目的

奥日光地域では、奥日光地域では、マイカー利用等に起因する交通渋滞の発生により環境負荷が増加しているという課題がある。そのため、奥日光地域を「環境にやさしい観光地」としてブランド化を図るとともに、同地域における二次交通として低公害バスを導入し、環境負荷の低減を図ってきた。

## 事業概要

奥日光の市道1002号線で運行する低公害バス3台（EVバス2台、ハイブリットバス1台）に付属する運賃箱について、キャッシュレス対応運賃箱・表示器・音声合成装置を更新する。

## 期待される効果

低公害バスの利便性を向上させ、マイカー利用者等がEVバス等を代わりに利用することで、温室効果ガスの削減が期待される。また、環境にやさしい観光地として、環境先進性のPR効果が図られる。



# エコたび栃木プロジェクト事業

2025年度事業

## 背景・目的

栃木県では2019年に「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」を行い、プラスチックのより一層の3R※の促進、適正処理の確保に向けた取組を進めている。

本事業は修学旅行という一生の思い出になる場面において、「プラスチックとの上手な付き合い方」に取り組んでもらうことで、使い捨てプラスチックの削減意識の定着及び観光関連のごみ削減を図るものである。 ※3R… リデュース、リユース、リサイクルの略

## 事業概要

修学旅行において「環境にやさしい3つの取組」を実践する小・中学校等に対し、旅行時に使用できるオリジナルエコバッグと事前学習教材を提供する。

また上記の取組に加えて学校独自のエコな活動に取り組んだ学校を「エコたびチャレンジ優秀校」として表彰する（5校）。

## 期待される効果

使い捨てプラスチックの削減意識の定着及び観光関連のごみ削減を図る。

## エコたびチャレンジ優秀校



2023年度 作新学院小学部

## 環境にやさしい3つの取組

歯ブラシ・はみがき粉の持参



マイバッグ・マイボトル\*の使用



食べきり・食べ残しの削減



# 特用林産気候変動対応推進事業

2025年度事業

## 背景・目的

- ・本県のしいたけ生産の現場では、昨今の異常気象に対応した生産管理の知見がない。
- ・従来の経験や勘に頼った方法では、しいたけの量や品質の確保が困難となることが危惧される。
- ・生産現場において、最新機器の導入に向けた効果の検証を行う。

## 事業概要

- ・気候変動への適応に向けた最新の生産管理機器の検証等

### 【検証機械】

- ✓クラウド型ハウス環境モニタリングシステム
- ※気温、湿度、CO2などを計測し、ハウス環境を把握
- ⇒スマホ等により見える化し、適切な生産管理を支援

## 期待される効果

- ・気候変動に適応したしいたけ生産への知見を深め、生産量の増・品質の向上を図る。
- ・県民に安定した品質の高い「しいたけ」を提供する。



# SDGs 推進企業支援事業

2025年度事業

## 背景・目的

持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指し、地域課題を解決する取組を促進するため、SDGsに取り組む企業等を「とちぎSDGs推進企業」として登録する。

## 事業概要

- 1 「とちぎSDGs推進企業」の募集・登録
- 2 登録企業向け登録マークの交付(企業ブランドの向上等)
- 3 普及啓発のための企業向け経営セミナー
- 4 登録企業向け勉強会

## 対象者

県内に本社、事務所を有する企業等

## 期待される効果

SDGsの目標が示すものは、満たされていない世界のニーズ(未開拓の巨大市場)であり、SDGsの目標達成に向けた取組は持続可能な経営への展開につながる。本登録制度をきっかけに、社内全体でSDGsに関する理解が深まり、企業等における取組の加速化につながる。



とちぎSDGs推進企業 登録マーク